スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

山形県山形市

自 治 体 名 ： 山形市
担 当 課 名 ： 文化スポーツ部部活動地域移行連携室
電 話 番 号 ： 023-641-1212（925）

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	381.58㎢
人口	237,392人 （令和8年1月時点）
公立中学校数	15校
公立中学校生徒数	5,663人 （令和7年5月時点）
部活動数 （運動部活動のみ）	176部活
地域クラブ活動数	58クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

◆山形市の生徒数の推移【表1】　　各年5月1日現在

山形市立中学校生徒数（学校数：15校）	平成27年度	令和7年度	令和17年度（推計）
	6,584名	5,663名	4,710名

【表１】は市立中学校の生徒数の推移を表しています。
　本市の中学校生徒数は、平成27年度から令和7年度までの10年間で約920名が減少しており、令和7年度を起点にすると10年後、さらに約950名減少する見込みです。また、生徒数の減少に伴い、教員数も減員されることが想定されます。本市においても、少子化による生徒数の減少は、各校の部活動の存続に大きな影響を与えていると考えられます。

◆学校部活動への加入状況（令和7年度部活動実態調査）【表2】　　6月1日現在

部活動に加入している			加入していない
運動部（176部）	文化部（38部）【参考】	計（214部）	1,377人
3,313人	972人	4,285人	

⇩

運動部員のうち		
部活動のみ加入	地域クラブ併用	計
2,201人 （66.4%）	1,112人 （33.6%）	3,313人

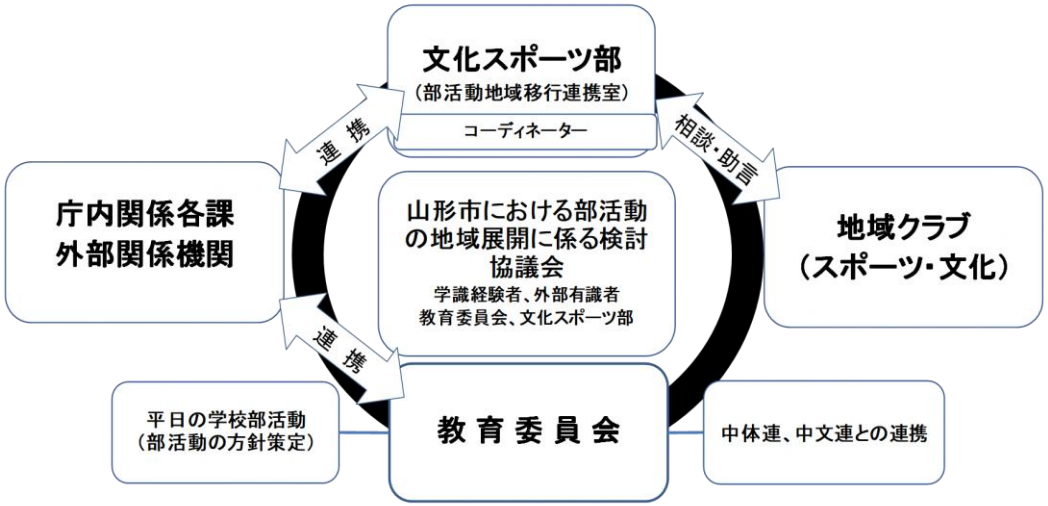
【表２】は、学校部活動への加入状況を示しています。
　令和7年度は、部活動に加入している生徒が4,285人（75.7%）となっており、7割を超える生徒が部活動に加入しています。部活動の運動部に所属している生徒3,313人のうち、部活動のみに所属している生徒が2,201人（66.4%）となっており、6割を超える生徒が部活動のみで活動している一方で、地域クラブの活動と併用している生徒が1,112人（33.6%）と割にのぼっており、徐々に地域クラブの活動に参加する生徒が増えてきています。
※　上述の「地域クラブ」は、中学校体育連盟に登録された種目の地域クラブに限ります。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会
・学校部活動全般に関する検討（「山形市における部活動の方針」の改訂）
・学校、教育関係団体、生徒、保護者等との調整及び周知広報
・教員等の兼職兼業等の許可
・部活動指導員の配置計画
・学校施設等の活用の検討　など

◉首長部局（部活動地域移行連携室）
・地域展開全般に関する検討（「山形市部活動地域展開推進計画」の推進）
・「山形市における部活動の地域展開等に係る検討協議会」の運営
・地域クラブ活動の認定・相談・助言
・各種支援策の検討、実施
・大学や高等学校との連携の促進　など

年間の事業スケジュール

令和7年4月	コーディネーターの配置 実証事業参加団体の調整
令和7年5月	学校長との意見交換（個別） 関係団体との意見交換
令和7年6月	実証事業団体との契約準備
令和7年7月	第1回検討協議会の開催 市スポーツ協会加盟団体説明会の開催
令和7年9月	実証事業活動視察
令和7年10月	実証事業活動視察
令和7年11月	実証事業活動視察 県イベント「ブカツのミカタ」への参加
令和7年12月	実証事業完了

年中業務
・山形市部活動地域展開推進計画の策定準備
【令和8年3月策定予定】
・市中学校長会との協議

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		23クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		22クラブ（0部活動）
	B：部活動にはない種目など、新規の地域クラブ活動数		1クラブ
全体の指導者数	87人	全体の運営スタッフ数	16人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
山形市ソフトボール協会	競技団体	ソフトボール	・平日　2回 ・休日　6回	平日　夜 休日　日中	1年生　23人 2年生　30人 3年生　11人	7/1～12/26	7人	1人 （内、兼務0人）	500円 /回	スクール形式のため大会参加なし
山形スマッシングクラブ	地域団体	卓球	・休日　18回	休日　日中	1年生　13人 2年生　9人 3年生　0人	8/1～12/26	3人	1人 （内、兼務0人）	100円 /回	部活動で参加
山形水球クラブ	地域団体	水球	・休日　21回	休日　日中	1年生　3人 2年生　3人 3年生　8人	8/1～12/26	3人	1人 （内、兼務0人）	2,000円 /月額	クラブで参加

2.実証内容と成果

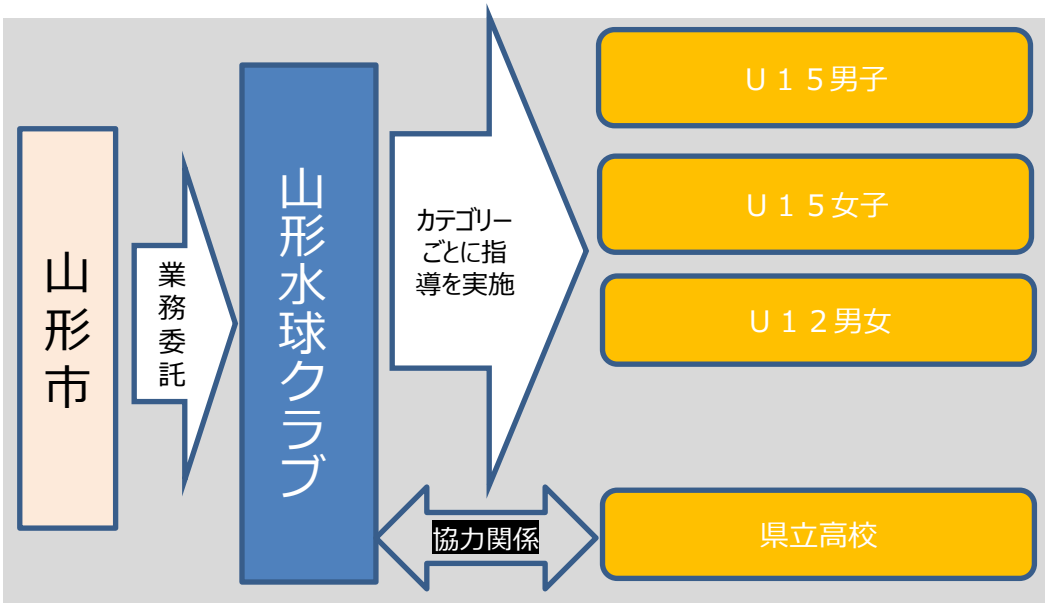
スポーツ庁

主な取組例

●山形水球クラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	水球
運営団体名	山形水球クラブ
期間と日数	8月～12月　期間中21回
指導者の主な属性	地域の指導者
活動場所	県立高校共用プール
主な移動手段	保護者の送迎、徒歩等
1人あたりの参加会費等（年額）	約24,000円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者

役割：市との窓口対応、代表指導者として指導方針の統括

●指導者

役割：各カテゴリーに対する指導、活動中の安全管理

●事務担当者

役割：庶務事務的な役割、書類の作成、謝金の管理等

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

休日の部活動の地域展開に向け、コーディネーターを配置することにより、スポーツ団体等の調整、指導者の確保、参加費用負担等への支援について総合的に推進。

また、令和5年度に立ち上げた検討協議会で外部の意見を取り上げつつ、モデル事業の拡充を図り、実施状況を検証しながら、成果と課題を整理していく。

取組の成果

・コーディネーター2名を常勤で配置した。教員OBのコーディネーターを配置したことにより、学校、校長会及び競技団体等との連絡調整を円滑に行うことができた。

・検討協議会を年2回開催。協議会の構成員を有識者及び学校関係者等に依頼したことにより、他自治体の現状や学校現場等の率直な意見を聴取し、課題の整理につなげることができた。

今後の取組における課題

・令和8年度の中体連主催大会終了後（1,2年生の新体制に切り替わるタイミング）より休日の部活動は原則行わない方針としている。地域クラブ立上げの検討が進んでいるが、持続可能な運営も含めた体制作りの強化が必要。

・令和7年度中に部活動地域展開推進計画を策定予定。市としての方針を示していく。

課題への対応方針

・令和7年5月に市内中学校全ての部活動に対し実態調査を実施。結果を分析し、地域クラブの設立パターン等を明確化。

・令和7年度中に部活動地域展開推進計画を策定予定。市としての方針を示していく。

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

コーディネーターの具体的な動きの実績

・市内中学校15校を訪問し、現状の把握と課題の整理に努めた。
・定期的に中学校校長会に出席し、部活動改革の取組み等を説明しながら、学校現場の協力を依頼した。
・PTA連合会や競技団体説明会において部活動改革の説明を行い、保護者の理解を深めた。

運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組

・夏場における活動の判断の基準を示すため、実証事業実施団体に向けて、「熱中症事故防止対策について」の通知を発出し、事故等の防止に努めた。
　また、事故やケガの未然防止のため、複数人での用具点検や活動を見守る体制の強化を図るとともに、実施団体には保険への加入を必須とした。

地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組

・　一部の団体において、参加者の出欠や共通連絡、情報共有を行う手段としてスマホアプリ「BAND」の活用を実験的に行った。
・一部の団体では、市内をブロック割りすることで、学校施設を活用することができ、生徒・指導者・保護者等の移動負担の軽減にも繋がったことで、クラブ運営の効率化が図られた。

地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針

今年度の事業では、事故やトラブル等の報告は受けていないが、令和8年より、当連携室内に「スタートアップ相談窓口」を開設し、各種相談に対するハブ的役割を担うとともに、伴走型の支援を行っていくことを計画している。
また、令和7年度に策定を予定している推進計画では、地域クラブに対して、緊急時の連絡体制の整備等を行い、適切な対応を講じるよう明確化していく。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

・令和7年5月に市内中学校全ての部活動に対し実態調査を実施。現状の部活動における外部指導者の有無や今後の活用の可能性について調査・分析を行った。
・県で実施した「指導者研修会（基礎研修）（実践研修）」における情報を県スポーツ協会と共有し、各団体等に積極的に周知を行った。

今後の取組における課題

・市主催で指導者研修会を実施した場合の財源の確保。
（県が実施しないと市町村が補助を受けられない現状のスキームの問題点）
・指導者を模索している地域クラブへの対応。

取組の成果

・上記、実態調査実施したことにより、質の保障を求めているのか、量（指導者自体を探しているのか）が不足しているのか、競技や学校単位、更には部活動単位で詳細な外部指導者の状況を把握することができ、今後の指導者確保支援に向けた材料とすることができた。

課題への対応方針

・限られた予算の中で、指導者の確保、質の担保等をどのように行っていくかについて検討を進める必要がある。
・令和7年度に策定予定の推進計画において、市が定める講習を受講することで質の保障を図っていく。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

コーディネーターを中心として、学校ごとに教員を対象とした研修会、保護者を対象とした説明会、競技団体やPTA連合会といった関係団体を対象とした説明会等を実施し、地域展開への体制整備を図った。

取組の成果

市内中学校に実際に足を運び、現場の教員に対し研修会を行ったことで、現場での疑問点、意見等を聴取し、地域展開を推進して行くにあたり参考にすることができた。（市内9割の中学校で実施）
また、保護者との意見交換により、教員とは違った視点の意見を聴取することができた。

今後の取組における課題

受け皿や施設活用の観点から、高校・大学との連携強化のあり方の検討を深めていく。

課題への対応方針

一部の地域クラブでは、すでに高校や大学施設等を活用している実績があるため、引き続き情報収集を進めていき関係団体・分野との連携強化のあり方を検討していく。

地域公共交通との連携に関する取組

公共交通を所管する担当課と、幾度となく協議を重ねた。
・担当者打合せ　→　担当係長会議の開催　→　担当課長会議の開催　→　部長会議での報告
しかしながら、全部活動に実態調査を実施したところ、当市において公共交通を使用しての会場移動は0%であることが判明し、
公共交通の活用方法模索中。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実

取組事項

市の自主事業を活用し、中学生を対象とした体験型活動を実施した。
「自然チャレンジ部」（独自予算）全5回
生徒が自ら活動内容を検討して、プログラムを作成し、協力して自発的に活動することで、生活での様々な課題について適切に対応し解決する行動力を養う。

取組の成果

「普段体験できないことができて楽しかった」「自然を感じることができた」など参加者からは好評であった。

今後の取組における課題

市の施設である「少年自然の家」での自主事業であるため、施設までの移動が課題となった。今年度は、公用車を活用し、送迎を行った。

課題への対応方針

校外での活動時における移動方法の検討や、事業メニューの検討を深めていく。

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

取組事項

費用負担の目安額や財源が不透明であったため、取組未実施。

今後の取組における課題

財源における課題
（国の補助金は補助要件にネックとなり、現時点で活用困難）

収支バランス

山形スマッシュクラブ（種目：卓球）
・実施期間：8月～12月
・実施回数：18回
・参加人数：396人（延べ）

●収入

項目	費用	割合
公費	150,000円	92%
事務局運営費	11,849円	8%
合計	161,849円	—

●支出

項目		費用	割合
地域クラブ活動費		161,849円	100%
	諸謝金（指導者）	108,000円	66%
	消耗品費	53,849円	34%
事務局運営費		0	0%
合計		161,849円	—

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

令和8年度からの本格的な休日部活動の地域展開に向けて、団体との連携強化や各種支援等のあり方について、総合的に推進していくことを目的として以下について取り組んだ。

1　「山形市における部活動の地域展開に係る検討協議会」

学識経験者や学校組織の代表者、文化・スポーツ団体の代表者を構成員とし、中学校の部活動の地域展開に関することや、地域クラブの在り方に関することについて検討を行った。

2　コーディネーターの常勤による配置

校長経験者のコーディネーターを2名配置し、部活動・学校と受け皿団体との連絡調整や情報収集等を行った。

3　四者会議による意見交換

市内中学校の教員や保護者、各競技団体等に対し、積極的に進め方や進捗状況等について説明を行った。

4　実証事業の実施

団体に休日の部活動を委託する形で、実証事業を実施した。様々な地域クラブの形態で実証事業を実施し、それぞれにおける成果と課題を抽出した。

5　山形部活動地域展開推進計画の策定

成果と課題を反映させながら、計画の策定作業を行った。令和7年度末に策定予定。

●成果の評価

・年2回開催された検討協議会では、幅広い構成員を選出したことにより、様々な角度から可能性を探ることができた。

・コーディネーターを常勤により配置したことにより、学校関係者や地域指導者からのクラブにおける疑問点など、相談体制を確立することができた。

・競技団体加盟団体会議やPTA連合会懇談会で部活動地域展開の説明を行ったことで、一定の理解を得られた。また、現場の教員との意見交換会も行い、リアルな意見を聴取することができた。

●今後に向けて

令和7年度末策定予定
山形市部活動地域展開推進計画

8つの取組方針を設定
・地域展開のあり方
・地域クラブのあり方
・指導者の確保、育成
・生徒の安全、安心の確保
・活動場所について
・大会等への参加について
・費用負担について
・学校部活動のあり方について

2.実証内容と成果④

スポーツ庁

参考資料



【山形市ソフトボール協会】



【金井ジュニアバレーボールクラブ】



【HEAC】



【山形スマッシングクラブ】

2.実証内容と成果④

スポーツ庁

参考資料

これからの中学生の文化芸術活動・スポーツ活動について

令和7年度
小学校5・6年生対象

これから中学生になって文化芸術活動やスポーツ活動をしたいと考えている人は、自分の興味や関心、希望などにあわせて、「学校の部活動」や「地域クラブ」など、どこでどんな活動をするのかを自分で選ぶことになります。
山形市の中学校部活動は、令和8年度からすべての学校で以下のようになります。おうちの人とも相談や確認をしてください。



◆ 中学校の部活動は任意加入です

中学校の部活動に加入するかどうかは自分の意志で選ぶことができます。

・部活動に加入する。
・部活動には加入しないで、中学生が参加できる文化芸術活動やスポーツ活動を実施している地域クラブなどに加入する。
・部活動と地域クラブの両方に加入する。 など

◆ 休日の部活動は原則行いません

令和8年度の中学校3年生が最後の大会やコンクールなどを終えて部活動を引退し、1・2年生がメインとなって活動するタイミングから、休日の部活動は原則行わないことになります。

※具体的な時期は、各学校の部活動ごとに決まりますが、7月頃から9月頃になると考えられます。

※ 平日の部活動はこれまで通り継続します

○休日…土曜日や日曜日、祝日など
○平日…月曜日から金曜日まで

◆ 休日の活動は地域クラブなどで行います

休日も活動したい人は地域クラブなどに加入して活動することになります。
平日の部活動とつながった地域クラブや、民間の地域クラブなど、現在、いろいろな活動環境づくりが進められています。

学校での主な行事や大会等

○部活動…学校の先生の指導を受けながら、主に学校で放課後に活動を行います。設置されている部は学校によって違います。
○地域クラブ…地域の指導者の指導を受けながら活動を行います。活動場所や活動時間などはそれぞれの地域クラブによります。

令和７年度				令和８年度											
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新入生オリエンテーション			卒業式	入学式 部活動体験	部活動 への加入	市中総体	県中総体	東北大会 全国大会	地区新人大会	県新人大会					
						＜美術＞ D1ｸﾞﾗﾝﾌﾟﾘ 市美術部展	＜吹奏楽＞ 地区大会	＜吹奏楽＞ 県大会 東北大会	＜美術＞ D1ｸﾞﾗﾝﾌﾟﾘ	＜吹奏楽＞ 全国大会		＜吹奏楽＞ 地区ｱﾝｻﾝﾌﾞﾙ ｺﾝﾃｽﾄ	＜吹奏楽＞ 県ｱﾝｻﾝﾌﾞﾙｺﾝﾃｽﾄ	＜吹奏楽＞ 東北ｱﾝｻﾝﾌﾞﾙ ｺﾝﾃｽﾄ	＜吹奏楽＞ 全国ｱﾝｻﾝﾌﾞﾙ ｺﾝﾃｽﾄ
学校や地域での準備期間 ※中学生が休日も活動できるような受け皿（地域クラブ等）づくり							3年生から1・2年生にバトンタッチするタイミングで、 休日の部活動は原則行わない。→休日は地域クラブ等での活動に！								

山形市では、中学生も参加できる地域の「文化芸術活動」や「スポーツ活動」の情報をホームページで紹介しています。
新しい情報が入ったときなど、必要なときに最新の状態にしています。どんな活動環境などがあるか、参考にしてみてください。

←文化芸術活動
スポーツ活動→

【お問合せ先】　山形市役所　☎０２３－６４１－１２１２
◆学校における部活動に関すること
山形市教育委員会　学校教育課（内線６３０、６３１）
◆部活動地域展開の取組等に関すること
山形市文化スポーツ部　部活動地域移行連携室（内線９２５、３６４）

2.実証内容と成果④

スポーツ庁

参考資料

～あなたの希望にあわせた活動のイメージ～

★平日も休日も
サッカーをしたい！



①平日は「部活動」で
休日は「地域クラブ」で活動
➡「部活動」と「地域クラブ」の
両方に加入する

①	活動のイメージ
月	部活動(サッカー)
火	部活動(サッカー)
水	部活動(サッカー)
木	
金	部活動(サッカー)
土	地域クラブ(サッカー)
日	

★平日は吹奏楽
休日は陸上をしたい！



②平日は「部活動」で吹奏楽
休日は「地域クラブ」で陸上
➡「部活動」と「地域クラブ」の
両方に加入する

②	活動のイメージ
月	部活動(吹奏楽)
火	部活動(吹奏楽)
水	部活動(吹奏楽)
木	
金	部活動(吹奏楽)
土	地域クラブ(陸上)
日	

★平日だけ
野球をしたい！



③「部活動」で活動

➡「部活動」に加入する

③	活動のイメージ
月	部活動(野球)
火	部活動(野球)
水	部活動(野球)
木	
金	部活動(野球)
土	
日	

★休日だけ
吹奏楽をしたい！



④「地域クラブ」で活動

➡「部活動」には加入しないで
「地域クラブ」に加入する

④	活動のイメージ
月	
火	
水	
木	
金	
土	地域クラブ(吹奏楽)
日	地域クラブ(吹奏楽)

★平日も休日も地域クラブで
バスケットボールをしたい！



⑤平日も休日も
「地域クラブ」で活動
➡「部活動」には加入しないで
「地域クラブ」に加入する

⑤	活動のイメージ
月	地域クラブ(ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ)
火	地域クラブ(ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ)
水	地域クラブ(ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ)
木	
金	地域クラブ(ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ)
土	地域クラブ(ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ)
日	



ここでは5つの例を紹介していますが、他にも皆さんの希望にあった、いろいろな選び方があります。

どんな環境で、どのように活動していくことが自分にあっているのか、大会への参加のしかたも含めて、おうちの人と相談しながらじっくり考えましょう。

大会への参加のしかたについて

特に、中学校体育連盟(略して「中体連」と言います)が開催する大会に参加を希望する場合は、その参加のしかたは次の2通りあります。

(1)「学校の部活動」として参加する。
(2)「地域クラブ」として参加する。

どちらで参加するか、中学校1年生の5月頃までに決める必要があります。

「学校の部活動」として参加する場合・・・

・学校の先生と大会に参加します。
・大会参加申込みは学校が行います。

※学校に部活動がないなど、希望しても学校の部活動として参加できない場合もありますので、進学先の中学校の先生に早めに相談しましょう。

「地域クラブ」として参加する場合・・・

・地域クラブの指導者や責任者と大会に参加します。
・大会参加申込みは所属している地域クラブが行います。

※地域クラブとして大会に参加するためには、以下のような注意点があります。地域クラブの指導者や責任者に早めに確認しましょう。

①所属クラブが県中体連に登録している必要があります。
②所属クラブから大会参加を認めてもらう必要があります。
③学校から配付される「大会参加区分報告書」を学校へ提出する必要があります。(提出の時期は5月頃になります。)
④「地域クラブ」として参加する場合、個人競技は山形市の大会から参加することができますが、団体競技は県大会からの参加となります。(県大会への出場権をかけたクラブの予選会が開催される競技があります。)

◆詳しくは県中体連が作成している次の資料を確認してください。
① 中学校で中体連大会に出ようと考えているみなさんへ
② 令和8年度県中体連主催大会へのクラブ参加について

①

②

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年		令和6年		令和7年		令和8年
協議会設置、検討開始	▶	受け皿団体の選定（実証事業） コーディネーターの選定	▶	部活動連携室の設置 コーディネーターの常勤配置	▶	受け皿団体の選定（実証事業） 学校、関係団体との調整・説明	▶	実証事業の継続 地域展開推進計画の策定	▶	地域展開の本格実施

ステークホルダー

学校、スポーツ協会、競技団体、地域スポーツクラブ
市長部局、市教委

経過

令和5年度より検討委員会を設置し、山形市における地域展開について検討を開始した。令和6年度は、市長部局に「部活動地域移行連携室」を設置するとともに、学校長経験者のコーディネーターを常勤で配置し、教育委員会と緊密な連携のもと、検討協議会や関係団体等との協議を深めながら取組みを進めている。

実施内容

令和7年度は、学校単体での地域クラブから全校型の地域クラブまで幅広く実証事業を実施した。
また、学校関係者や関係団体と密に協議を行い、推進計画案を作成し、令和8年度の本格的な地域展開に向け準備を整えた。

実施にあたって生じた課題

実証事業では、活動場所や指導者の確保が困難との指摘が多かった。学校体育施設の開放における仕組みづくりや、指導者を確保するための対策案など、検討課題が多いと認識している。
また、推進計画において様々な支援策を検討していくことになるが、市としての財源の確保なども大きな課題として考えられている。

今後の展開

令和7年度も関係者等との協議を深めながら、年度までに「部活動地域展開推進計画」を策定し、令和8年度早々に、学校や関係団体等に周知していくことで計画している。令和8年度中の本格的な地域展開に向けて、地域クラブのあり方やスケジュールなどを明確にしていく。
また、すでに地域クラブで活動している団体の情報の収集を徹底し、市民に情報を発信できるよう取り組んでいく。

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

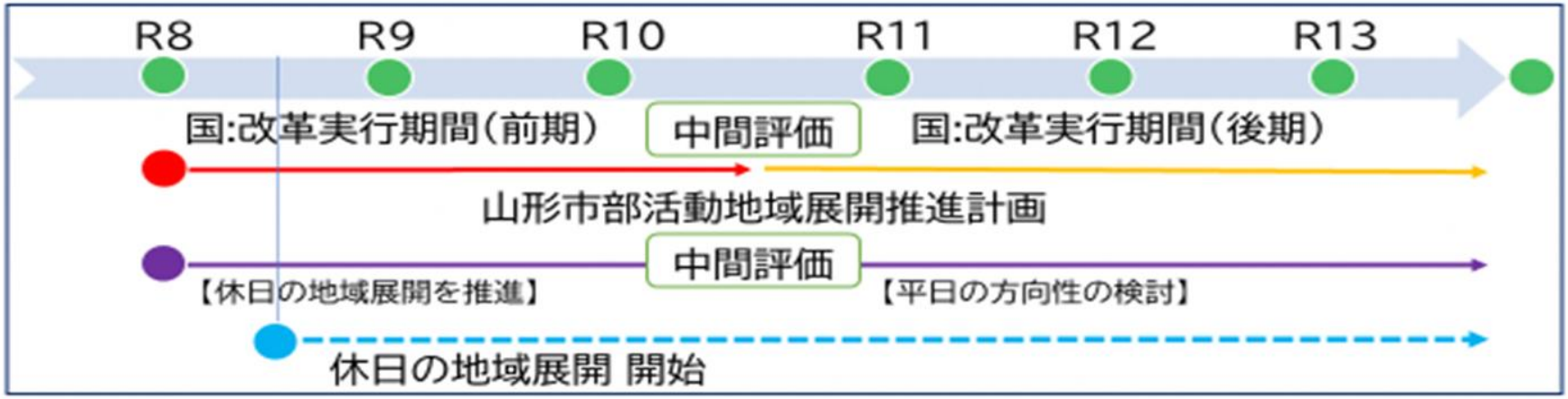
山形市における部活動地域展開の概要

16

地域展開のあり方

○ まずは、休日の部活動から地域クラブ活動に展開していく。

休日の学校部活動（土・日） → 地域クラブ活動



○ 平日の部活動は、中間評価の段階で示される国の取組方針を踏まえて、方向性（あり方）を検討する。
○ 地域クラブ活動は、学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、新たな価値の創出を目指す。
○ 学校部活動と同様、地域クラブ活動は、生徒の自主的・自発的な参加により行われるものであることに留意する。
○ 地域クラブ活動の実施に当たっては、生徒が所属する中学校等との適切な連携を図ることが必要である。